

平成20年度 第2回北海道ブロック協議会

第2回北海道代協常任理事会 議事録

平成20年7月3日(木)pm 1:00~5:00

於: ホテルサンルート室蘭

出席者

本部常任理事	高梨 重勝	函館	常任理事	多和 康司	千歳	札幌副支部長	町野 泰明	札幌
会長	向出 明彦	札幌	常任理事	小野 修	函館	札幌副支部長	見上 峰夫	札幌
副会長	阿部 實	札幌	常任理事	山吉 行雄	釧路	事務局長	末原 正二	札幌
副会長	石岡 憲義	函館	監事	長太 義雄	札幌	事務局員	藤田 和代	札幌
副会長	長尾 忠正	釧路	監事	木下 裕章	小樽	オブザーバー	金浜 善孝	室蘭
副会長	羽山 和広	帯広	組織	伊藤 輝雄	函館	〃	佐々木彰夫	〃
常任理事	佐々木雅之	札幌	企画環境	吉田 和彦	釧路	〃	土井 良治	〃
常任理事	廣瀬 禎	室蘭	教育	山崎 善仁	札幌	〃	黒沢 修一	〃
常任理事	寺田 賢	旭川	地球環境	林 昌宏	旭川	〃	高橋 典男	〃
常任理事	佐藤 聖	苫小牧	社会貢献					

司 会 事務局長 末原正二

1. 開会の辞(石岡憲義)

2. 会長挨拶(向出明彦)

1、昨今、保険会社が代理店への自分勝手な締め付けが目に見える。若い代理店、募集人が将来に夢を持てる環境にすべく議論を深めてもらいたい。

3. 日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)

1、業界は言葉にならないほどの厳しさがあり、将来の代理店数は3万店くらいでよいとの話もある。翻ってみると、代協会員を増やし代理店数におけるシェアを伸ばすチャンスである。

4. 倫理綱領朗読(小野 修)

5. 議長選出

議長には向出明彦会長(札幌)が指名され、承認を得た。

6. 議事

[I] 報告事項

(1) 日本代協総会報告(議事録参照)

<補記> ①向出会長、高梨常任理事ほか札幌支部より7名の会員が出席した。

②佐々木札幌支部長より出席した感想

- 1、組織の活力を増進する為には他力本願ではだめで自らが活動しなければならない。
- 2、代理店が直接話し合える会員懇談会はもう少し時間が欲しかった。
- 3、損協主催の懇親会については代協主催で開催することが望ましいのではないかと。

(2) 日本代協常任理事会報告(高梨重勝)

議事録参照

(3) 日本代協理事会報告(向出明彦)

議事録参照

(4) 日本代協委員会報告

(I) 企画環境委員会(吉田和彦)

- ・7月25日に本部委員会があり代理店賠償、活力ある代理店制度、郵便事業会社との提携などが議題になる予定

(II) 教育委員会(山崎善仁)

- ・1万人の認定保険代理士達成に向けて、第11期保険大学受講生を募集している。北海道においては38名の受講者を目標としているが、現在18名の申込者なので各支部の協力をお願いしたい。
- ・認定保険代理士の更新研修は、7月11日に第3期と第6期が合同で開催される。

(III) 組織委員会(伊藤輝雄)

- ・7月15日に本部にて委員会が開かれる。会員増強の議題にて

(IV) 政治連盟

会議資料参照

(V) 地球環境委員会(林 昌宏)

- 1 6月20日、本部にて委員会が開かれた(会議資料参照)
- 2 チームマイナス6%運動について、個人で登録している会員は北海道代協事務局まで知らせて欲しい。
- 3 社会貢献活動の報告は9月までに事務局へお願いしたい。

<補記>

- ★ 廣瀬室蘭支部長より保険会社との「委託契約書」の取り交わしに関して発言があり、意見の交換をした。

- 1 保険会社の効率化方針として、自由に設定するポイント制度になっているし、事業比率を下げる為に一方的に追い込まれているように思う。



- 2 「委託契約書」に関して代協一丸となって取り組み、保険会社へ是正の切りこみが出来ないか。
- 3 保険会社が展開している「直営店」の開示、乗り合い拒否の理由、「委託契約書」の不公平、等々、代協がもっと声を上げるべき。
- 4 損協より代協へ6000万の助成があるが、全代理店、年間5000円を負担してでも代協の独自性を保つべきだ。
- 5 代理店側にも、「委託契約書」に収入印紙を貼っておらず、押印していない契約書を持参している代理店が多い、文句を言う前に自分の襟を正す意識が必要ではないか。

[II] 審議事項

(1) 会員増強

- ① 北海道代協の20年度目標は507会員としている。しかし今日現在494会員で退会見込みが10会員あるので484会員となる。対策を含めて今後の目標数値を挙げてもらいたい。

	前年度末	現在	増員数	最終目標
札幌	128	128	7-7	135
室蘭	17	17	3-3	20
旭川	79	74	1-6	80
小樽	19	19	4-4	23
苫小牧	27	25	3-5	30
千歳	24	23	1-2	25
函館	71	74	4-1	75
釧路	83	82	0-1	83
帯広	55	52	0-3	55
合計	503	494	23-32	526

(2) 保険大学

- ① 会議資料に記載してあるように各支部の受講目標を達成して頂くようお願いしたい。

(3) 法人移行への準備

- 1 法人登記準備委員会の答申を受け、設立日まで、事務的準備をする小委員会を立ち上げる。小委員会の立ち上げ、人選については向出会長一任とする。

(4) 移行申込書(会員登録)の方法について

- 1 支部会員の移行確認書の取り付けについては、一定の書式のもとで支部に一任するが、9月末日までに事務局に届くよう準備してもらいたい。

(5) その他

- 1 見上峰夫広報委員より北海道代協ニュースのページ設定をB4の4面からA4の6面に変更したいとの提議があり了承された。
- 2 「簡易郵便局のご案内」について会長より説明があった。

- 3 町野札幌副支部長より「DRP」の現状について説明があった。今後、登録代理店数の目標を60代理店としている。
- 4 事務局より北海道代協へ各支部会費(部分的でも結構です)を早期に納入してもらうよう要請があった。今年度も3ヶ月を経過しているが納入支部は札幌支部だけとなっており、代協運営上の基本的な部分をよく認識していただきたいとの要望があった。
- 5 会議資料の中に「全国損害保険代理業政治連盟」のご案内が記載されており、会員の加入と会費納入を早めをお願いしたい。

[Ⅲ] 会員懇談会

(1) 会費の値上げについて

札幌—現状の会費体系を維持するよう、収益事業を充実したい。

室蘭—3万とする。

小樽—説得には難しさがあるが、いずれ上げなければならない。

苫小牧—2万5千円としているが、セミナー等で資金を集めたい。

千歳—今年度より2万から2万5千円とする。次年度には3万にしたい。

函館—例会において今後の値上げする方向になる旨の雰囲気作りをしている。

釧路—2万5千円と3万円とがあるが次年度は5千円上げたい。

帯広—セミナー開催で資金を貯め、なるべく会費の値上げ幅を抑えたい。

(2) 口座振替手数料について

- 1 保険会社に振り込む代勘精算の振り込み手数料が代理店持ちとは、少し違うのではないか。生保は会社持ちである。

- 2 保険会社はキャッシュレス化の普及に努めている。これでは代理店の手数料が益々目減りする。

- 3 帳簿上、振り込み手数料は売り上げに加算し、のち経費として計上する。



(3) その他

- 1 公益法人を目指す日本代協の会員は、都道府県の単協が会員となり、理事は15名くらいとなるようだ。それでは各単協の意見を吸い上げるには無理があるのではないか。全国の会員が集う「代協コンベンション」的な企画を考えたらどうか。
- 2 代理店の差別化に認定保険代理士の取得は有効であり、今後の目指すところである。
- 3 事務局よりリニューアルした「代協のホームページ」を是非見てもらいたいとのこと。
- 4 向出会長より諸問題の建議があれば是非事務局の方へ知らせて欲しい。会員みんなで共有し、次の会議に反映していきたい。

7. 閉会の辞(羽山和広)